

2月22日(木) 1階D室 9:00~9:40

1 単元名 せいりしてかんがえよう ~新1年生を迎えよう~

2 単元について

(1) 日常事象から課題を設定し、目的をもって調べるデータの活用の授業

1年生の子ども達は、春に入学してくる新1年生を迎える準備を行っている。新1年生を迎える準備の1つ目として、教室前に球根を植え、きれいな花で新1年生を迎えようと考えた。球根は、チューリップ、ランタンキュラス、ヒヤシンスの3種類で、それぞれ赤、黄色、白、ピンク、紫の5種類の色から好きな球根を子ども達は選んで植えることとした。単元の最初に、花の種類と色別に子ども達が描いた球根の絵を整理することで、どんな花が咲くのかを調べる活動を行う。整理する観点によって並べ方を変えると、同じデータでも絵グラフが変わり、よくわかることも変わることを感じさせたい。

2つ目は、栄養教諭から「新1年生が給食を大好きになるおすすめメニューを教えてください」というお話を聞いた。そこで、まず現1年生に新1年生へのおすすめメニューを1つアンケートに書いてもらった。その結果から、上位6種類のメニューを提示し、決選投票を行うこととした。決選投票の方法は、6種類のメニューから、1番おすすめのメニューと、2番目におすすめのメニューをそれぞれ1つずつ書き、その中の上位を栄養教諭に伝える。本時では、この決選投票のデータを扱い、結果をわかりやすく表現したり、考察したりすることをねらいとした。最後に、結果を栄養教諭に伝える活動を行う。アンケートのデータを分析し、栄養教諭に伝えるというゴールを設定することで、子どもたちがデータを取る目的意識を明確化させることができると考える。

(2) 重みづけが異なるデータを提示し、多面的・批判的に考察する見方・考え方の芽を育む

統計的な問題解決では、データの処理の仕方によって結論が異なってくる場合があり、異なる観点や立場などからデータの処理の仕方を多面的に見直してみたり、その処理の仕方に誤りや矛盾がないかどうかを批判的に考察したりすることが重要である。本時では、授業の最後に重みづけが異なるデータ(1番おすすめの給食と2番目におすすめの給食)を扱う。どう処理するべきか、子ども達自身が考える様子を見ながら、多面的・批判的に考察する見方・考え方の芽を育みたい。

3 学習活動計画(3時間目/全5時間)

- (1) 球根の種類と花の色について観点をもって整理する。 (2時間)
- (2) 「新1年生におすすめの給食」のアンケートを取り、その結果を栄養教諭に伝える。 (3時間)

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

集めたデータの結果をわかりやすく表現したり、考察したりすることができる。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
<p>1 課題を把握する。</p> <p> 初めて給食を食べる新1年生のために、4月にどんなメニューが出たら新1年生が給食を大好きになるかおすすめメニューを教えてください！</p> <p>2 メニューカードをわかりやすく整理する。 T: みんなのアンケート結果を発表します。持っているメニューカードを黒板に順番に張っていきましょう。 C: 同じメニューごとに並べたい。C: カードの向きもそろえないとわからない。</p> <p>3 1番おすすめのメニューと2番目におすすめのメニューを提示し、2で出された結果を多面的・批判的に考察する。 T: みんなにアンケートを聞いた時、1番おすすめメニューと2番目におすすめメニューを聞きましたね。メニューカードを裏にすると、ピンクと水色になっていて、1番おすすめメニューはピンク、2番目におすすめメニューは水色になっています。 C: ○○はカードが多かったけれど、2番目におすすめの人が多だね。 C: ピンクを2点、水色を1点として、点数で比べたらどうかな。 C: 水色とピンクを分けて考えたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて給食を食べたころを想起させ、栄養教諭の話を紹介しながら、課題への意欲を高める。 ・子ども一人一人に自分が選んだメニューのカードを配っておき、黒板に張らせる。 ・カードが縦向きと横向きのメニューがあるので、縦か横のどちらかにそろえないと比べられないことにも気づかせる。 ・子ども達から、ピンクを2、水色を1など価値を数値化してデータを作り替えるなどのアイデアが出たら扱う。